

かじかのさとだより 第85号



発行/〒889-2401 日南市北郷町大藤甲3186番地1/TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739
 社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里
 ホームページ <http://www.aisenkai.jp/kajika/index.html>



ジュースおいしい

きれいな花

花を身近で見ると、「綺麗なこつなあ」としみじみ話されています。



いい景色だ～



4月の2日と4日、北郷の花立公園と蜂の巣公園へドライブに出かけました。当日は天気も良く、久しぶりの外出で、みなさんとても喜んで頂きました。

ドライブ



長生きしますように

楽しく過ごせますように

それぞれの願いを込めながら真剣に。「元気に過ごせますように」



がんばってかけます



今年も会えました

お釈迦様の誕生日である4月8日は、甘茶を一人一人がお釈迦様にかけて、お祈りをしました。皆様、手を合わせ拝まれていました。

花祭り



お母さん、お父さん感謝の集い & 五月文化祭



お母さん、お父さん感謝の集い & 五月文化祭

ズンドコ

感謝の集い

5月21日に河鹿の里で「感謝の集い」を行いました。御家族の参加は出来ませんでした。喜んでいましたが、食堂ホールにて、職員による二人羽織と歌謡ショーで皆様大変盛り上がり、楽しい時間を過ごして頂きました。



感謝の集い司会



オレー

来年こそは、御家族が参加出来る事を願って、利用者様と過ごしていきます。



ワン・ツーン・ワン・ツーン

※ 写真、名前の掲載はご家族、ご本人の承諾を得ています。

初開催

梅雨の音楽祭

6月12日に初開催となる「梅雨の音楽祭」が行われました。梅雨入りして間もないですが、じめじめとした天候も多く、音楽で気分を盛り上げて頂きたく開催致しました。

鈴やタンバリンなどの楽器を使って歌うことで、より一層の盛り上がりを見せました。



七夕ホーム喫茶

7月8日に「七夕・ホーム喫茶」が行われました。今年も短冊に願いを書いて、笹の葉に一つ一つ結び付けました。お願ひ事は、家族の健康を書いている方が多いのが印象的でした。

また、ホーム喫茶では七夕の由来を説明し、歌を歌った後に、おやつのごまプリンとサイダーを美味しく頂きました。

次回はお肉やゆで卵が食べたい!といった声が聞かれており、皆様が喜んでもらえる様、努力して参ります。



「上を向いて歩こう」を皆様で歌いました。懐かしの名曲を昔を思い出しながら、良い時間を過ごせたと思います。音楽の力を改めて感じさせられ、利用者様からも好評でしたので、今後も開催していきたいと思えます。

河鹿名物 納涼祭

8月7日に、河鹿の里の三大行事の一つ「納涼祭」が開催されました。今年も残念ではございますが、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策の為、御家族様の参加は叶いませんでした。利用者の皆様も御家族と楽しめたかったと思いますが、苦渋の決断の末、今回の参加も見送りとなり申し訳ございません。

今年の納涼祭は、職員による「神輿・ひよっこ・フラダンス」がアトラクションとして行われ、利用者様数名で射的をして頂きました。お祭り気分ですぐ多くの笑顔が見られ、今回も大いに盛り上がりました。



終始笑顔が見られ、「久々にこんなに笑った」と言ったことが多く聞かれました。今後も感染症対策を行いながら、利用者様の笑顔が少しでも多く見られる様に支援して参りますのでよろしくお願ひ致します。





常食

赤飯
にがりの酢物
のつぺい汁
パインムース

開園記念
7月1日



今年度も季節に合わせて、色とりどりの食事を召し上がり頂きました。

行事食紹介



おやつ

紅白まんじゅう
まきばのプリン



ミキサー



常食/ミキサー

認知症の方への対応について知っておきましょう!

R6年4月末時点で、日南市の高齢化率は39.9%です(人口48,704人、うち高齢者数19,417人)。R7年には「65歳以上の5人に1人が認知症になる」との予想もあり、認知症は身近な存在です。認知症の特徴や本人の感じ方を知り、対応について知っておきましょう!

認知症の方への対応

何度も同じことを聞かれる⇒初めて聞いたように答える

記憶障害によって記憶が消されると、前後の文脈が繋がらずに不安を感じます。本人が安心できるよう、初めて聞かれたように答えましょう。

「通帳がない、あなたが盗った」と言われる⇒一緒に探しつつ、自分で見つけられるようサポートする

言われる側は本当につらい気持ちになりますが、本人の不安な気持ちを引き起こす原因は何か、考えてみることも大切かもしれません。代わりに探すより、一緒に探しつつ、本人が自分で見つけられるようサポートしてみましょう。



認知症の方の気持ち

自分に不利なことは認めたくない

誰だってそうですが、認知症の方はとりわけ、自分を守るためにこの傾向が強くなる場合があります。相手に事実を認めさせようとするよりは、認知症の人が懸命に守ろうとしている自己を傷つけないように対応していきましょう。

感情は豊かに残る

認知症の方は、自分が話したり聞いたりしたこと、行動などの事実関係は覚えていないことがあります。こちらは理由があつてつい強く言ってしまうと、本人にとっては身に覚えのないことで怒られたことへの腹立ち、不快感、恐怖感などの感情が残ります。反対に、自分を認め、やさしく接する相手には穏やかな感情を抱きます。



認知症の方への対応は、なぜそのような症状が引き起こされるのかを理解すること、本人の立場に立って考え、接することが大切になってきます。認知症を発症したあとも「その人らしさ」を保って生活できるよう、頑張りすぎずにプロの力を借りることも検討しながら対応していきましょう。



借り物競争、新聞引つ張りゲーム、タオル落とし競争、職員による早着替え&ラムネ早飲み競争を行い、大盛り上がりの運動会となりました。



5月 鯉のぼり うんどうかい

北郷の小中学校では運動会が行われていましたね。ここ、河鹿の里デイサービスでも「こいのぼり運動会」を開催しました。



日南学園看護科の学生さんが実習に来てくださいました。学生さん達の会話に花が咲き、楽しい時間でした。



デイサービスでは14時から1時間、運動レクや創作など様々な活動を行っています。4月の創作活動では、こいのぼりを制作しました。皆さん、職員の説明をよく聞き、一生懸命作品を作り上げていました。

活動風景



6月に地震発生後の火災を想定した防災訓練を行いました。地震が起きた時の身の守り方や消火器の使い方など、皆さん真剣に取り組んでいました。

防火訓練



今年も七夕の季節がやって来ました。利用者様と職員が協力して七夕飾りの作製や飾り付けを行い、短冊にも願い事を書いてもらいました。

「いつまでも元気にデイサービスに来られますように」「リハビリがうまくいきますように」など、健康を願われる方が多かったです。

七夕

夏祭りを開催しました。皆さんで手作りのお神輿を担ぎ、「ワッショイ」「ワッショイ」と大きな声が出ていました。その後の射的も盛り上がり、楽しいお祭りとなりました。

編集後記

今回もたくさんさんの活動を行うことが出来ました。まだまだ暑い日が続きますので、体調を崩さないようにしましょう！

